重点施策実行のための“支援”

（財）日本ハンドボール協会常務理事　高村 誠一

平成21年度最初の常務理事会で川上専務理事から「日本協会の活動のベクトルは全て強化に向ける」との指示がありました。これは日本ハンドボール界が一丸となって、2012年のロンドン五輪にはなんとしても出場を果たす、というトップの強い意志を明確に示されたものです。

日本協会にはプロジェクトを含み6つの事業本部（マーケティング、総務、普及指導、強化、競技、プロジェクト）がありますが、本年度は全体で88の重点施策を実施することとしています。施策の中でも強化のために“特に重要”な項目の実行については、協会を挙げて支援し確実に実行することによって、最終的には日本代表チームの五輪出場につなげる事が最重要事項であります。

総合企画室の役割は、それらの事業が確実に実行され、強化につながる効果を最大限発現するための支援であります。重点施策は事業部単独で実行するものもありますが、ほとんどが複数の事業部が協力して行うものです。事業部間の緊密な連絡はもちろんですが、部分最適ではなく全体最適を考え調整することも必要となってきます。事業部間の潤滑剤としての機能を十分発揮することが重要です。総合企画室としましては、関係各位のお知恵をいただきながら、フットワークを効かし業務を遂行していきたいと思います。

現在、各事業本部からはそれぞれの重点施策に対し「責任者」と「スケジュール」を明確にした実行計画書が提出されています。総合企画室はその進捗状況を確認することも役割のひとつですが、むしろ大切なことは、進捗に支障を来たした場合の課題を早期に発見し、それに対しどういった支援ができるかを考えることだと思います。そのためには、関係者間の情報の共有化が必要不可欠です。自らのアンテナを高く上げ、常に当事者意識をもって取り組んでいきたいと思います。

最後に、私はハンドボールに出会って以来これまで32年間、選手およびスタッフとしてハンドボール界各方面の皆様に多大なるご指導・ご支援をいただきました。またナショナルチームの一員として貴重な経験も積ませていただき、その経験が私の人生の大きなよりどころとなっています。更に、ハンドボールを通じて人間として様々なことを学ばせていただきました。ハンドボールから得たこれまでのご恩に対し、少しでも報いることができるよう、また、ナショナルチーム経験者の一人として、日本代表チームがなんとしても五輪に出場できるよう、微力ではありますが精一杯努力していきたいと思います。

2010年男子ユースオリンピックアジア予選／第3回女子ユースアジア選手権（2010年ユースオリンピック予選）に向けての 抱負

第3回女子ユースアジア選手権（2010ユースオリンピック予選）が7月4日からヨルダンにて、一方2010男子ユースオリンピックアジア予選が7月4日からソウルにて夫々開催されました。

前回の大会では、女子は予選を勝抜き（5カ国中2位）ユース世界選手権への出場（結果は16カ国中13位）を果たしております。

今大会は、女子が2010年ユース世界選手権（7月：ドミニカ）の予選、更に男女共に2010年8月シンガポールで開催の第1回ユースオリンピック大会の予選（本大会の第1位がアジア連盟より推薦を受けることができる。最終決定は日本オリンピック委員会。）を兼ねており、夫々の出場権獲得を目指して、大会直前に男女ＨＣ及び代表の選手から抱負を語って戴きました。（本号が発行された折には大会は終了しておりますが、大会結果の報告は次号を予定しております）

男 子

滝川一徳　全日本男子U-19ヘッドコーチ

■アジア予選にむけての取り組み

～「心・技・体」から「体・心・技」へ～

4月、5月、そして6月の直前合宿と合計3回の強化合宿を行いました。4月・5月は徹底してフィジカルトレーニングを行いそのなかでスキル・戦術を少しずつ取り入れました。朝のランニング、午前のフィジカル中心のトレーニング、午後のスキル・戦術中心のトレーニングと三部練習、そして夜のミーティングと非常に充実した合宿を行うことができました。さらに栄養指導も行い、1日6000Kcalの食事を摂取することを課題に食事もトレーニングの一環として徹底しました。国際試合においては、フィジカルがあって初めてスキル・戦術を発揮できることを理解させ取り組ませました。「巧さ」は「強さ」に消されてしまうという意識をこの世代から体感させたいと考えました。選手の取り組みは非常によく、ハードなトレーニングを行ったにもかかわらず体重を増やし、合宿を終えることができました。しかしそれを継続できる選手とできない選手がおり、期待通りにアジア予選までのフィジカルの向上が見込めないケースもありました。これからも大きな課題であります。

選手の選考においては、第1・2回の合宿においてフィジカルレベル、スキルレベル、ポジション（1ポジションに最低2人ずつ）を考慮し選考しました。どの選手も必死に取り組むため選考には頭を悩ませましたが、アジア予選時点でのベストのメンバーを選考し大会を迎えることができました。

■大会の目標・戦いかた

日本は予選Aグループに所属し、UAE・中華台北、カタールと戦うことになりました。特に中東の2カ国は、体格的に不利が予想され、そして体格をいかした戦術が多いため、DFラインを高くし、激しいコンタクトを繰り返すことで相手にミスを誘発させFBに持ち込むことを徹底してのぞみたいと思っています。予選リーグは3試合ともハードな展開になると予想されますが、日本のよさである機動力をフルにいかし1位通過し、そして残り2試合も同様に乗り越え優勝しユースオリンピックに出場できるよう選手・スタッフ一丸となり全力を尽くしたいと思っています。

最後に、味の素ナショナルトレーニングセンターの素晴らしい環境の中で、3回に及ぶ充実した合宿を行うことができたことに感謝し、フル代表のトレーニングを間近で見ることができたり、大崎電気・明治大・国士館大との練習マッチをさせて頂いたりと限られた時間の中、本当に恵まれた中で強化することができました。所属高校の大会や定期考査など過密日程の中、選手を代表チーム最優先に送り出して下さった監督の先生方にもこの場をお借りして御礼申し上げます。最後に、代表としての誇り、そして「覚悟と責任」を持って闘ってきたいと思います。

元木博紀　（主将・藤代紫水高校）

私はキャプテンの立場からこの3回の合宿を見て思ったことは、1回目の合宿では1回目ということもあり、チームとしてのまとまりもなく、又お互いに遠慮している部分もあってかなかなか思うようにいかなかったことです。そのまま合宿を終えてしまいました。

2回目はみんな徐々に遠慮もなくなりコートの中でのコミュニケーションもとれるようになり、チームとしていい方向に向かってきました。しかし、いまいち全体的に元気がなく、盛り上がりに欠けたまま合宿を終えてしまいました。

3回目は、全員の気持ちも一つになり、チームとしての方向性も高まりました。そして、この3回の練習を乗り越えたことを自信に思い、覚悟と責任を胸に秘め、たくさんの期待を背負って正々堂々日本の代表として戦ってきます。

玉城慶也　（興南高校）

私は3回の合宿を終えて感じたことは、1回目の合宿ではみんなコミュニケーションが足りず、言いたい事を何も言えないし、3年生2人に頼りすぎてチームとしてのまとまりがないまま終わってしまいました。2回目の合宿では、1回目よりまとまりが出て、言いたい事も言えるようになっていたし、チームの和も出てきました。けれど、全体的に少し元気がないまま終わってしまいました。3回目の合宿では、チームとしての方向性も決まっていき、練習の雰囲気もだんだん良くなり、全員のモチベーションも高まってきました。

この3回の合宿を乗り越えたことを自信を持ち、その自信とみんなからの期待を背負って「勝利」という言葉に向って闘いに行きます。

上野真悟　（永見高校）

私は、今までの合宿を通じて、初めはプレー面やコミュニ

ケーションの面でもいろいろと不安があったまま、合宿が始まりました。練習は、３部練習で、とても大変でした。しかし、練習をしていくうちに全員が自分の意見を言い合えるようになり、一つのチームとしてまとまってきたと思います。

今大会では、最高の舞台で最高のプレーをしてきたいと思います。

応援よろしくお願い致します。

女子

繁田順子　女子ユースヘッドコーチ

今般、編集部のご好意によりユースのカテゴリーにも情報提供の場を与えて下さった事に感謝致します。第３回女子ユースアジア選手権大会出場にあたり、チーム目標や選手選考について述べさせていただきます。

■選手選考について

年齢は、1992 年１月１日～ 1993 年 12 月 31 日。

学年では、高３の早生まれと高２、１年生が対象となる。選考基準としては、この年代の強化指定選手と候補選手をベースに 20 年度全国選抜大会も視野に入れ、ポジション、フィジカル、形態的、体格的特長を考慮し選考した。また、NTS 以外ではあるが即戦力として活躍が期待できる選手もピックアップした。反面、怪我やチーム事情で数名の辞退者が出たのは残念である。ともあれ選考した選手全員が最高のパフォーマンスで戦ってくれると信じている。

■大会に向けて

若い世代のハンドボーラーが世界の舞台に挑戦できるための登竜門となるこの大会。今回は、2010 年ユースオリンピック予選も兼ねており、当初、北朝鮮を含む 10 ヶ国の参加が予想されていたが、最終エントリーは、日本・韓国・タイ・カザフスタン・ヨルダンの５ヶ国となった。いずれにしても本大会への出場権獲得が大前提となる。しかし､過去２回、本大会出場成るも我々の前に立ちはだかったのは、やはり韓国の壁だった。日本ハンドボール界の課題はそのままユースの課題でもある。

２回の強化合宿（５月…４泊５日・６月…６泊７日）において、共通課題は「戦う集団の一員」であるという自覚。まず、フィジカル、メンタルの両面での強化として、早朝より 3000 ｍタイムトライアルを実施。コーチとトレーナーがペースメーカーとなった事も功を奏し､日毎にタイムは伸びた。

次にゲーム運びとして、１試合で 30 点以上の得点と 20 点以内の失点を目処とする。

①DF：・パラレルアタック・ツーアタックによる併用

②OF：・６－０DF・５－１DF に対する攻め方

③数的有利、不利時のシステムの構築

④速攻

以上を中心にチーム戦術の理解を深めることを課題に挙げた。当然、個々のスキル・スタミナ・判断力の強化が成された上でのチーム力である。中でもイージーミスに対しては勝敗を左右する厳しさを求めたい。

日本独自の足を使ったハンドボールを前面に打ち出し、選抜チームでなく「単独チーム」としてチーム力を出すことが必要であり、全員で戦う姿勢を持ち、打倒韓国に強い意識で臨みたい。

大谷佳奈美　（主将・神戸星城高校）

私は今回ユースのメンバーに選ばれ、合宿を重ねるごとに日本代表ということを自覚していきました。普段はそれぞれ違うチームのメンバーなので合わないところもありましたが、短い期間の合宿でしっかり調整してきました。やはり日本の最大の敵は韓国です。打倒韓国と言われ続け、きつい合宿の練習も乗り越えてきました。ものすごく厳しい試合になると思いますが、自分がキャプテンとしていろいろな面で支えていき、チームのためにできることをしっかりやりたいと思っています。今回の大会にあたって、協力してくださったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、１試合１試合強い気持ちで戦っていきたいです。

中村光代　（文大杉並高校）

私の目標は、今年の夏に行われるユースアジア選手権で優勝し、ユースオリンピックへの出場権を獲得することです。また、昨年、U‐16 の日韓戦で惜敗した韓国に勝ち、何としてもリベンジを果たしたいと思っています。

私は昨年もユースのメンバーに選出されました。初めて世界のハンドボールを目の当たりにした時、言葉では言い表せないような感動を覚えました。どのプレーにも迫力があり、私の予想をはるかに上回るものでした。しかし、私はベンチ入りすることができませんでした。そのため、外国の選手がどれほどのスピードやパワーがあるのか実際には体験していません。日本の選手が体当たりでディフェンスしても、びくともせずにシュートを打ちきる選手も多く、世界を相手にすることは本当に大変なことだと思いました。

昨年は外からしか観戦できませんでしたが、その経験を生かし、今年は自分自身がコートに立ち、自分の力を最大限に発揮し、チームに貢献したいと思います。そして、日本代表という誇りを忘れずに、闘争心を持って戦ってくることを誓います。

名渕友紀　（高松商業高校）

海外の人たちを相手にして、自分たちの思い通りの試合運びをすることは難しいと思います。試合の中で、ミスが続いたりなかなか点数が入らず苦しい時もあるかもしれません。しかし、そんな中でも、チームの雰囲気を盛り上げ、流れを変えられるようなキーピングをしていきたいと思います。相手は身長も力もあり、圧倒されることもあると思いますが、仲間を信じ、自分らしいキーピングをしてチームの役に立てるように頑張ります。そして、指導してくださった人たちをはじめ、支えてくださったスタッフの皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、一戦一戦を大切に戦いたいと思います。最後には勝利がつかめるように、選ばれた 16 人全員で精一杯頑張ります。

第32回国際ハンドボール連盟（IHF）総会に参加して

（財）日本ハンドボール協会副会長　多田　博

本年度総会は6月5日、6日エジプトのカイロで開催されました。日本ハンドボール協会からは国際ハンドボール連盟役員として渡邊会長が、日本代表として市原副会長と私が参加いたしました。私にとっては初めての経験で、非常に興味深かったのと同時に考えさせられる事の多い総会でした。行く前に蒲生国際部長より問題点についてのご指導を受けておりましたが、聞きしに勝る内容でした。

総会前日4日にアジアハンドボール連盟（AHF）のアルテヤブ氏（クウェート）より召集があり、緊急のアジアハンドボール連盟会議が開かれました。主旨は総会の選挙におけるアジア連盟として推薦する役員11名及びオウディター2名の通知でした。更に予定されている動議それぞれの可否を指定するものでした。秘密投票ゆえ束縛できるものではありませんが、アラブ諸国・南西アジア諸国は盛り上がっており、東アジア諸国は冷静な感じでした。日本側は、是々非々で対応する事を内部間で了承しました。

6月5日9時より本会議が開始されるはずでしたが、ハッサンムスタファIHF会長よりアフリカ諸国が他のホテルにいて到着が遅れるとの報告があり、20分後に大勢のアフリカ諸国の団体が入場してきました。少し異常な雰囲気のもと会議開催が発声されました。以下議事の進行順で報告します。

1．出席投票数の確認

最終的に142ヶ国、142票が確認された。

2．新加盟国

シンガポール、インドネシア、ペルー他全部で7ヶ国が承認された。総加盟国は149ヶ国となった。本当に、ハンドボールをやっているのだろうかと思われる国も有るように感じた。更に、ニュージーランドの国内連盟問題が報告された。現在のニュージーランドハンドボール協会（NHF）は活動をしておらず、新しいハンドボール連盟をIHFとしては認めたいとの動議であった。旧NHFは、かねてより反ハッサンムスタファ派で、ムルマター氏を応援していたと聞いています。日本は、本件ニュージーランドの国内問題なのでニュージーランドが決めれば良いとの立場から棄権した。

結果は絶対多数で本件は承認された。

3．委員長報告

ハッサンムスタファ会長より、いかにこの5年間自分がIHFに貢献してきたかの自己宣伝が中心。その中でも興味あった点は、

＊機構の新しい構成、技術、運営、資金調達を3本の柱として、それぞれ新しいオペレーションを導入する。

＊2007年ドイツで行われた世界大会で、ハンドボールはSmart, Dynamic,Attractive,Highspeedの点で大きく進化した。決勝戦は20,000人以上の観衆が集まった。決勝戦のテレビ放映では129百万人が観戦した。TV放映権収入が2005年以降、毎年50－100％の伸びを示している。

＊ビーチハンドボールの人気が上がって来ている。今後IHFとしてもサポートして行く。

＊審判の重要性
IHFとしての承認の仕方を今後検討していく。特にTop Refereeの育成に注力する。これまでも2005－2009のTop Referee Training Programを作りTop Refereeの道を作ってきたが、更に新興国への支援等新プロジェクトを作る。

＊IOCとの関係
非常に重視している。2012年ロンドン大会のオリンピックプログラムからソフトボール、野球は落選したが、ハンドボールは25競技の中に残った。ドーピング問題は極めて重要な案件である。

＊その後、自分への批判に対する弁明を行い、調査委員会報告として何の根拠も無かった事が判明したと説明。その元凶として、ムルマター専務理事がIOCへの暴露を含むIHFに対し不利な言動を繰り返したとして彼の辞任を求める発議を行った。ムルマター氏よりその弁明、及びルクセンブルグを中心にその他北欧勢から異議の申し立てがあったが、絶対多数でこの動議は通った。しかしながら本動議は法的拘束力が無く、ムルマター氏は辞任要請に応じなかった。
日本は説明が良く分からぬとの立場で、投票には棄権した。東アジア諸国も対応は日本と同じでした。

その後すぐにCoffee休憩。

4．会計監査報告

2007年度、2008年度の決算及び監査の報告が為された。

ルクセンブルグ・カイザー氏（IHF会長候補）より、その前の会長報告に関する質問を行おうとしたがハッサンムスタファ会長は、会計監査報告と関係なしとして質問を封じる動議を行った。これも絶対多数で彼の質問を認めなかった。

5．電子投票

投票に際し、これまでの秘密記名投票に変わりコンピューター使用の電子投票を採用したいとの動議が事務局より出された。これに対し、秘密性確保の観点で法的に問題あるのではとの質問に対し、顧問弁護士がSecret Votingは守られていると説明。この動議は承認された。その時には既に全ての電子投票用の機器が用意されており、その手際のよさに驚かされた。これを使っての選挙に入る。

6．選挙

当初、電子投票に不慣れで投票数確認に時間を要したが、最終投票数が143ヶ国となった。一部興味深かった選挙結果を報告する。

President
　ハッサンムスタファ　現会長　115票　※当選
　カイザー氏（LUX）　25票
1stVP　ロカ氏（ESP）　無投票　※当選
Secretary general
　デルプランケ氏（FRA）　113票　※当選
　ムルマター氏（SUI）　28票
審判委員長（PRC）
　プラウゼ氏（GER）　71票　※当選
　タワコジ氏（IRI）　65票

総会前日AHFが推薦した役員11名中10人がそのまま当選。落選したのは審判委員長のイランのタワコジ氏のみであった。大接戦でしたが、これにはハッサンムスタファ会長がプラウゼ氏応援に回った為と見られています。

タワコジ氏は色々問題ありとして、我々も不適との考えをもってプラウゼ氏に投票しました。日本が投票した人の中で当選となったのは、このプラウゼ氏だけでした。

選挙が終わりヨーロッパ勢の弱さに驚きましたが、それ以上に脱力感、無情感を強く感じました。

今のIHFはクエートを中心とするアラブ勢が取り仕切り、アフリカ諸国が追随し、更に歴史的地勢的に近いスペイン、フランスが取り込まれ又南米諸国も組する状態となっています。北欧、中欧など歴史的にハンドボール強国であった国々の発言力が非常に低下しており、ハンドボールとは縁の遠かった国々が支配する状況です。

これで総会第一日が終了。重要事項は初日に殆ど決定した様子でした。

第二日は新会長としてハッサンムスタファ氏が議事を運営しましたが祭りの後の雰囲気で淡々と進行しました。

最後に次回2011年の通常総会の場所の選定で
　モロッコ・マラケシ　73票　※当選
　ハンガリー・ブダペスト　59票
となりました。

これで最後というときに、突然マレーシアの代表より会長への提言があり、会長が議長を兼任しているのは問題ありとし、更に議長が反対の質問を封じるのは良くないと発言した。ハッサンムスタファ会長は無視していたが、同感と思う人も多くいました。

以上、総会への出席報告ですがIHFがこのままではいけない、改革が必要であるとの気持ちを強くして戻ってきました。ただ今はどうすればこの問題を解決できるのか答えが見つかっていません。これから日本協会としてどう対応すべきか良く皆様と議論していきたいと思います。

第34回 日本ハンドボールリーグ 日程

週	月日	開催地 都道府県	会場	男子		女子	
				時間	組合せ	時間	組合せ
1	9月5日(土)	愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼 vs 湧永製薬		
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs 豊田合成		
	9月6日(日)	神奈川県	横浜文化体育館	16:00	大崎電気 vs トヨタ車体	14:00	オムロン vs ソニー
		石川県	小松総合体育館	13:00	北陸電力 vs トヨタ紡織九州	15:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
		三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs ＨＣ名古屋
2	9月12日(土)	広島県	東区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs 豊田合成	13:00	メイプルレッズ vs 三重
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs トヨタ紡織九州		
	9月13日(日)	長野県	千曲市戸倉体育館	14:00	トヨタ車体 vs 北陸電力	12:00	オムロン vs ＨＣ名古屋
		鹿児島県	霧島市国分体育館			13:00	ソニー vs 北國銀行
3	9月19日(土)	愛知県	東海市民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs トヨタ車体		
			豊田合成㈱健康管理センター	15:00	豊田合成 vs 北陸電力	13:00	ＨＣ名古屋 vs ソニー
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs オムロン
		香川県	高松市香川総合体育館	13:30	大崎電気 vs トヨタ紡織九州		
	9月20日(日)	三重県	名張市総合体育館			14:00	三重 vs 北國銀行
4	9月26日(土)	福井県	福井県営体育館	13:00	北陸電力 vs 大崎電気		
		愛知県	ウィングアリーナ刈谷	14:00	トヨタ車体 vs トヨタ紡織九州		
	9月27日(日)	三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs ソニー
		京都府	京都府立体育館			14:00	オムロン vs 北國銀行
		福岡県	福岡市民体育館	16:00	大同特殊鋼 vs 豊田合成	14:00	ＨＣ名古屋 vs メイプルレッズ
5	10月10日(土)	愛知県	スカイホール豊田	16:00	大同特殊鋼 vs トヨタ紡織九州	14:00	オムロン vs 三重
		広島県	湧永満之記念体育館	13:00	湧永製薬 vs 北陸電力		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs ソニー
		沖縄県	沖縄県総合運動公園体育館	14:00	琉球コラソン vs トヨタ車体		
	10月11日(日)	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs ＨＣ名古屋
6	10月17日(土)	千葉県	市川市塩浜市民体育館	14:00	大崎電気 vs 豊田合成		
		愛知県	東海市民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs 北陸電力		
			春日井市総合体育館	15:00	トヨタ車体 vs 湧永製薬	13:00	ＨＣ名古屋 vs オムロン
	10月18日(日)	石川県	小松総合体育館			16:00	北國銀行 vs ソニー
		三重県	四日市市中央緑地体育館			14:00	三重 vs メイプルレッズ
7	10月24日(土)	愛知県	豊田合成㈱健康管理センター	14:00	豊田合成 vs トヨタ紡織九州		
		愛知県	知立市福祉体育館	15:00	トヨタ車体 vs 琉球コラソン	13:00	ＨＣ名古屋 vs 三重
		広島県	東区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs 大崎電気	13:00	メイプルレッズ vs 北國銀行
		熊本県	熊本県立総合体育館			14:00	オムロン vs ソニー
	10月25日(日)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 琉球コラソン		
8	10月31日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 豊田合成		
	11月1日(日)	山梨県	甲州市塩山体育館	15:00	琉球コラソン vs 大同特殊鋼		
		石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs 三重
		佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs 大崎電気	13:00	ソニー vs ＨＣ名古屋
		熊本県	人吉スポーツパレス			14:00	オムロン vs メイプルレッズ
9	11月7日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs トヨタ車体	12:00	オムロン vs 北國銀行
				16:00	大同特殊鋼 vs 大崎電気		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs ＨＣ名古屋
		鹿児島県	霧島市国分体育館			15:00	ソニー vs 三重
	11月8日(日)	広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs 琉球コラソン		
10	11月14日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 大同特殊鋼		
		沖縄県	浦添市民体育館	13:00	琉球コラソン vs 大崎電気		
	11月15日(日)	宮城県	大和町総合体育館	14:00	トヨタ紡織九州 vs 湧永製薬		
11	11月21日(土)	埼玉県	和光市総合体育館	14:00	大崎電気 vs 北陸電力		
		愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 大同特殊鋼		
	11月22日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs トヨタ車体		
12	11月28日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 琉球コラソン		
			知立市福祉体育館	14:00	トヨタ車体 vs 大崎電気		
		宮崎県	小林市市民体育館	16:00	湧永製薬 vs 大同特殊鋼		

節	日付	都道府県	会場	時間	男子	時間	女子
13	12月5日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 湧永製薬		
	12月6日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 大同特殊鋼		
14	12月12日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 大崎電気		
		愛知県	三好公園総合体育館アリーナ	13:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 北陸電力		
				15:00	大同特殊鋼 vs 琉球コラソン		
	12月13日(日)	高知県	高知県民体育館	13:00	湧永製薬 vs トヨタ車体		
15	1月16日(土)	岩手県	岩手県営体育館	14:00	大崎電気 vs 湧永製薬		
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 豊田合成		
		沖縄県	沖縄県立武道館	13:00	琉球コラソン vs 北陸電力		
16	1月23日(土)	広島県	中区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs ﾄﾖﾀ紡織九州	13:00	メイプルレッズ vs ソニー
		熊本県	熊本県立総合体育館	14:00	大崎電気 vs 琉球コラソン		
				15:40	トヨタ車体 vs 大同特殊鋼		
	1月24日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs 北國銀行
		三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs オムロン
17	1月30日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	15:00	ﾄﾖﾀ紡織九州 vs 琉球コラソン		
	1月31日(日)	富山県	高岡市竹平記念体育館	11:00	北陸電力 vs トヨタ車体		
		三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs ＨＣ名古屋
		鹿児島県	霧島市国分体育館	13:00	豊田合成 vs 湧永製薬	15:00	ソニー vs オムロン
18	2月6日(土)	広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs 三重
		熊本県	山鹿市総合体育館			14:00	オムロン vs ＨＣ名古屋
	2月7日(日)	奈良県	生駒市市民体育館			14:00	北國銀行 vs ソニー
19	2月14日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs ソニー
		愛媛県	松山市コミュニティセンター体育館			12:00	三重 vs 北國銀行
						13:45	オムロン vs メイプルレッズ
20	2月20日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs オムロン
		広島県	東区スポーツセンター			13:00	ソニー vs 三重
						15:00	メイプルレッズ vs ＨＣ名古屋
21	2月27日(土)	熊本県	水俣市立総合体育館			14:00	オムロン vs 三重
		鹿児島県	霧島市国分体育館			14:00	ソニー vs メイプルレッズ
	2月28日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	ＨＣ名古屋 vs 北國銀行
22	3月5日(金)	愛知県	ウィングアリーナ刈谷	19:00	トヨタ車体 vs 豊田合成		
	3月6日(土)	沖縄県	沖縄県立武道館	14:00	琉球コラソン vs 湧永製薬		
	3月7日(日)	茨城県	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	14:00	大崎電気 vs 大同特殊鋼		

	日付	都道府県	会場	時間	試合
プレーオフ	3月20日(土)	東京都	東京体育館		女子準決勝(レギュラーシーズン2位 vs レギュラーシーズン3位)
					男子準決勝(レギュラーシーズン1位 vs レギュラーシーズン4位)
					男子準決勝(レギュラーシーズン2位 vs レギュラーシーズン3位)
	3月21日(日)	東京都	東京体育館		女子決勝
					男子決勝

◎最新の試合情報は、日本ハンドボールリーグＨＰをご覧ください。

ＨＰアドレス：http://www.jhl.handball.jp/

携帯サイト：http://www.jhl.handball.jp/i/

※日本ハンドボールリーグＨＰをリニューアルしました。

～どこへ行く実業団選手権～

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

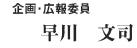
50回目を迎えた全日本実業団選手権が名古屋で行われた。紆余曲折を経て60年暮れに広島で第1回大会が開催されてから半世紀が経過したが、今や実業団界は大きな曲がり角にさしかかっていると言っていいだろう。

ご存じのように、100年に一度と言われる世界同時不況。企業からは大幅な縮小や休・廃部の声が、ハンドボールだけでなく日本スポーツ界全体、世界から聞こえてくる。

全日本実業団選手権は選手参加資格を見ても、一時は関連会社、嘱託など緩和されたが、発足当時の「同一企業体に所属する社員」と位置付けられている。しかし、今回の記念大会に出場したチームを眺めても、この規定に該当しないチームも出場しているのは確かである。

選手参加資格はともかく、企業チームにこだわれば、大会自体の存続が危ぶまれる時代といっていいだろう。

とくに女子の参加は、昨年より1チーム増えたが、それでもわずか6チームにすぎない。しかもクラブチームが2チームもある。ということから見れば「同一企業」などはありえない状況であることは明らかだ。

そうした重大な時期に直面している現状を眺めれば、ここは「実業団連盟」を発展的に解消して「社会人連盟」に名称を改称し、広く門戸を開いていくべきではないだろうか。

日本のスポーツ界が現在のように発展してきた過程を考えれば、確かに企業の存在抜きに語れないのは間違いない。世界のスポーツ界から見れば、日本独特の特異な現象であることも、また事実である。

しかし、今の経済状況を思うと、急速に回復するとは考えにくい。展望は開けないとも言える。

先にこの欄でも何度か触れたが、日本スポーツ界は明らかに方向転換する、いや、方向転換しなければいけない立場に置かれていると言っても過言ではない。

そうした中で、日本リーグの受け皿となる新ディビジョンが新設されるなど、新しい流れも出てきた。ここらで一度、ハンドボール界全体を見渡して、大会の位置付けや組織の再点検をすることも必要ではないだろうか。

すべての愛好者が喜んで参加できる球界へ―それがさらなる発展へつながる一つの道ではないかと言う気がしている。そういうことが競技者人口拡大にもつながるはずだ。

傷害保険 / 賠償責任保険 / 共済見舞金

より便利に より安心に!!

保険内容を改定しました

スポーツ安全保険

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで（申込受付は平成21年3月から）

5名以上の団体でご加入ください

加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

加入対象者		補償対象となる団体活動等	加入区分	年間掛金（一人当たり）	傷害保険金額 死亡	傷害保険金額 後遺障害（最高）	傷害保険金額 入院（日額）	傷害保険金額 通院（日額）	賠償責任保険 てん補限度額（免責金額なし）	共済見舞金
子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。））		団体活動全般（スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など）	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円
		団体活動全般	AW	1,150円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	
					日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様					
		上記以外（個人活動・個人練習など）			100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象となりません
					日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。					
大人	高校生以上	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円
		スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
		子どものスポーツ活動の指導限定 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢		危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※掛金には(財)スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 Web スポーツ安全協会 検索

財団法人 スポーツ安全協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番1号 03-5510-0022

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

http://www.sportsanzen.org

●資料請求は、インターネットより受付けております。

〈幹事会社〉
東京海上日動火災保険株式会社 公務第2部第1課 TEL 03-5223-2607（平日9:00～17:00）
〈共同引受保険会社（平成21年4月予定）〉※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 ニッセイ同和損害 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険等）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「スポーツ安全保険のあらまし」をご覧ください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険㈱までお問い合わせください。

平成20年12月作成 1310-08-091

東京海上日動は、スポーツ安全保険を通じて安全と安心を提供し、スポーツ活動の普及・促進を応援します。

幹事保険会社
東京海上日動火災保険株式会社 公務第2部公務第1課
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST11階
お問い合わせ先：03-5223-2607 午前9:00～午後5:00（土日祝を除く。）

ヨーロッパ情報

第１回：チャンピオンズリーグから①

村松　誠（編集委員）

2008/09 シーズン、EHF チャンピオンズリーグは、男子シウダット・レアル（スペイン）、女子ビーボー（デンマーク）が優勝

2008/2009 年 EHF チャンピオンズリーグは、女子が５月９日と 16 日に行われ、ビーボー（デンマーク）がジェール（ハンガリー）を破り、2005/06 年シーズン以来２度目の優勝を飾った。一方男子は、５月 24 日と 31 日に行われ、シウダット・レアル（スペイン）がキール（ドイツ）を破り、２年連続・３回目の優勝を飾った。

ハンドボールは、ヨーロッパではメジャースポーツであり、その人気はかなり高い。今回、このヨーロッパでのハンドボールについて、2008/09 年のヨーロッパチャンピオンズリーグを追いながら、ヨーロッパでのハンドボール事情の一端を紹介して行く。

EHF の４つのクラブ対抗大会

ヨーロッパでは、ヨーロッパでのメジャー大会として、世界選手権より質が高いと言う各国・地域連盟対抗のヨーロッパ選手権と、EHF（ヨーロッパ連盟）が主催する各クラブ対抗のチャンピオンズリーグ、EHF カップ、カップウィナーズカップ、チャレンジカップの４つの大会がある。チャンピオンズリーグはこの中でも、ヨーロッパ各国強豪クラブが出場する最高の大会と言える。ゲームは基本的にホームアンドアウェイの２ゲームで行われ、各ステージを勝ち上がるごとに、スポンサー料や放映権料で多額の収入がクラブに入る。

これに出場できるクラブは、EHF の各国ランキングにより、割り当てられる。直近の資料はないが、手元にある 2004/2005 年ランキングによれば、直前の３年間のシーズンの成績によって決められている。2008/2009 年シーズンは、男子が前シーズン優勝クラブを含め、スペインとドイツに４クラブ、ハンガリー、フランス、スロベニア、デンマークに各２クラブを得、総合計 40 クラブが出場権を得ている。一方女子は、前シーズン優勝クラブを含め、ロシアとデンマークが各３クラブ、ハンガリー、スペイン、ノルウェー、ドイツ、ルーマニアが各２クラブ、総合計で 32 クラブが出場権を得ている。いずれも世界選手権や、オリンピックでよく知られた国々が、ランキングの上位を占めていると言えるだろう。

第１関門は国内リーグ

チャンピオンズリーグへの出場は、前年度国内シーズンのランキングで決められる。また、その他の３つの大会にもランクによって出場権が決まる。そのため強豪国ではランク争いも大変熾烈である。どこの出場権を得るかは、クラブの収入にとって大きな問題となるからである。

シーズンは長丁場

2008/2009 年シーズンは、女子が 2008 年９月５日に始められ、2009 年５月 16 日が最終戦、男子が 2008 年９月６日に始められ、最終戦が 2009 年５月 31 日となった。この間約９ヶ月間に亘る長丁場で、ヨーロッパを転戦する形で行われた。この間各クラブは、国内リーグも戦い次シーズンにも備えなければならず、強豪クラブにとっては、戦力的にも充実していなければ、なかなか勝ち抜くことが難しいしこととなっている。テレビ放映のあったあるゲームでは、レギュラークラスの選手がほとんど出ておらず、「これがあのチーム？」と不満を聞いたことがあった。そのクラブは、そのシーズンチャンピオンズリーグに優勝したが、国内リーグとチャンピオンズリーグアウェイのゲームが近かったことと、基本的に２ゲームの合計点で勝敗が決まることもあって、第１ゲームで大きなアドバンテージを得、有利にゲームを進められることで、このような決断をしたのではないかと思われる。ヨーロッパの端と端では距離もあり、移動だけでも大変なエネルギーが必要である。さらには、時差や気候の違いも大きなストレスとなる筈である。

代表プレーヤーはプロでなければ…

さらに各国代表クラスのプレーヤーは大変である。2008/2009 年シーズンは、

この9ヶ月間の間に、女子は12月2日から14日まで、ヨーロッパ選手権を戦い、男子は1月16日から2月1日まで世界選手権を戦っている。まさに、代表クラスで強豪クラブプレーヤーは、国内リーグを戦い、チャンピオンズリーグなどの大会を戦い、国を代表して国際大会も戦うわけである。現在の国際大会スケジュールを考えれば、オリンピックの間に、2年毎に世界選手権があり、そしてその間にさらにヨーロッパ選手権を戦うわけである。そのうえ、各国協会の興行の都合もあるであろうが、トレーニングを兼ねたナショナルチームでの対抗戦もスポットで組まれるのが普通であろう。

そして、現代のハンドボールは、高度化、高速化を進めており、並大抵のことではトップを維持することは難しいであろう。このようなことから、プレーヤーはフルタイムハンドボールプレーヤー、つまりのところプロになっていかなければ、トップは維持できないだろう。事実、各国上位強豪クラブでの中心選手は、大部分がプロ契約をして選手生活を送っている。

女子チャンピオンズリーグシステム

女子チャンピオンズリーグと、男子のリーグでは若干システムが違う。まずは、2008/2009年シーズンを事例に、女子チャンピオンズリーグの経過を追っていくこととする。

女子チャンピオンズリーグは、予選トーナメント1、予選トーナメント2、グループリーグ、メインラウンド、準決勝、決勝の各ステージで戦われた。予選トーナメント1は、9月5日から7日まで、第3シード8クラブが4クラブずつの2リーグの1回戦総当りで行われた。この予選リーグで敗退したクラブは、EHFカップのラウンド2に回った。上位2クラブずつは、次のステージに進み第2シードの12クラブを加え、予選トーナメント2を1回戦総当り、4クラブずつの4リーグで、10月3日から5日まで戦った。ここでの各リーグ1位がグループリーグに進み、敗退12クラブは、EHFカップラウンド3に回ることになった。

グループリーグは、第1シードの12チームが登場し、4クラブずつの2回戦、ホームアンドアウェイでのリーグ戦を10月29日から2009年1月18日まで戦った。ここで特徴的なのは、北京では出場権を逃しているが、オリンピック3連覇のデンマークが、ビーボー、イカスト、FCKの3クラブが進出していることである。デンマーク国内リーグの充実度を伺わせるものであろう。この間にヨーロッパ選手権を挟んだが、上位2クラブずつ8クラブが2月7日から3月22日に行われたメインラウンドへ進出、4クラブずつの2回戦のホームアンドウェイで戦った。メインラウンドの上位2クラブずつは、クロスマッチでの準決勝に進み、3位クラブは、カップウィナーズカップのラウンド5に回ることとなった。

準決勝は、メインラウンドグループ1の1位ビーボーとグループ2の2位オルトハイム・ビルチャ（ルーマニア）、もう一方は、グループ1の2位、ヒュポ・ニーダーエースターライヒ（オーストリア）とグループ2の1位ジェールの戦いとなった。ビーボーとオルトハイムの戦いは、4月12日と18日に行なわれ、ビーボーが1勝1分で決勝へ進出。一方のヒュポとジェールの戦いは、4月12日と19日に行なわれ、1勝1敗で勝敗は分けたが、トータルスコアー54対47でジェールが決勝へと駒を進めた。

決勝第1戦は、ビーボーのホーム・オールボーで5,600人の観衆を集めて行われた。試合は、GK・カタリンが7mスローを4本セーブする活躍と硬いディフェンスで、アウェイのジェールが26対24で勝利を収めた。第2戦はジェールのホーム・ベツプレムで5,100人の観衆を集めて行われた。ビーボーは、ディフェンスが機能し、ミケルセンの効果的な速攻で前半を14対10とリードした。後半もビーボーは順調に試合を進めたが、残り10分あたりから徐々に失速。残り90秒のビーボーの得点で26対23となった。ジェールは、あと1点で、通算得点でドローとなるところであった。しかし、最後のシュートをビーボーディフェンスにブロックされ、26対23でビーボーの勝利で終了した。通算得点50対49の1点差で、ビーボーがタイトルを握った。

日本でおなじみの選手も活躍

今シーズンの得点王に、ビーボーのグリット・ユラックが輝いている。2位のプレーヤーに13得点差をつける113点で、圧倒的な得点王となった。この選手は、10年ほど前のジャパンカップに来日し、活躍したことを覚えている方もいると思う。また、オーストリアのヒュポには、前広島メイプルレッズのオー・ソンオク選手が在籍し、活躍している。スコアーの面では、33得点で50位にランクされている。このチームには、ほかに韓国から、キム、ミョンの二人の選手が在籍し活躍している。

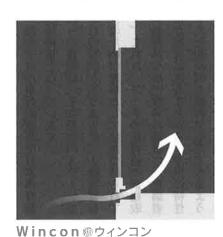
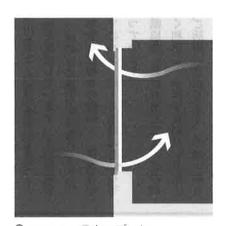
（※男子については、次回ご紹介します）

2009年度 全国大会レフェリー名簿

（平成21年6月11日現在） 2版

大会名	開催地	期日	審判員氏名	開催地
実業団選手権（8ペア）	愛知県名古屋市	7月8日〜7月12日	◎吉田敏明 〇楓 健児　福島 亮一・家永 昌樹（ﾄｯﾌﾟ）　多田 和生・中舘 豊（ﾄｯﾌﾟ） 小川 至門・内記 徹（岩手）　黒木 龍二・黒木 秀吾（東京）　坪井 雅典・神谷 眞二（愛知） 杉山 寛政・各務 宗孝（岐阜）　佐々木昌弘・高原 浩徳（大阪）　池渕 智一・檜崎 潔（ﾄｯﾌﾟ） 佐々木 皇介・安田 達（広島）	愛知県名古屋市8
全国高校総体（24ペア）	京都府宇治市京田辺市	8月2日〜8月7日	◎細沢 覚 〇大橋幹正　安田 寛・永春 文義（ﾄｯﾌﾟ）　浦川寿生・石崎章弘（ﾄｯﾌﾟ） 磯部 尚志・高橋 容平（北海道）　萩原 亨・小松 大（秋田）　越智 康裕・小澤 邦紀（福島） 堀江 成典・梶原 敏寿（東京）　本田 昭太・田渕 元雄（神奈川）　相坂 賢将・野平健二郎（埼玉） 土橋 邦彦・清水 啓佑（長野）　川江 俊樹・徳光 明博（石川）　徳前 紀和・森 義久（富山） 油上 智・中村 行志（静岡）　梅木 信男・土松 稔和（岐阜）　飯田 一郎・早瀬 司（滋賀） 寺内 啓之・細川 泰輔（大阪）　園 充利・大場 義隆（京都）　角 直樹・白川 裕隆（山口） 野島 祥之・石原 秀和（岡山）　山本 淳・山本 孝志（島根）　蟻川 武司・瀬良 研一（愛媛） 長谷川次雄・弘田 陸仁（高知）　大崎 祥洋・森本 嘉一（高知）　亀井 一寿・堀川 智宏（大分） 儀間 稔・末吉 哲（沖縄）	京都府宇治市京田辺市24
ジャパンオープン（12ペア）	千葉県市川市香取市	8月8日〜8月11日	◎植村 彰 〇中山富夫 〇仲田 稔　藤井 俊朗・大熨 嘉彦（ﾄｯﾌﾟ）　福田 弘・冨田 拓（ﾄｯﾌﾟ） 斉藤 崇・市丸 成彦（岩手）　島尻 真理子／河合 里美（東京／愛知）　野中 毅・横川 賢一（栃木） 得居 秀匡・村上 隆（東京）　松坂 孝之・沢崎 亮太（千葉）　秦 隆二・秦 伊織（石川） 金坂 英宣・談義所啓輔（石川）　足立 智司・田中 基明（愛知）　片山 聡・大岩 広人（静岡） 杉本 弘樹・井上 雄介（大阪）	千葉県市川市香取市12
全国中学校（9ペア）	宮崎県宮崎市	8月22日〜8月25日	◎齊藤仁宏 〇 岩上浩一郎・山口 弘夫（ﾄｯﾌﾟ）　田渕 舞・佐藤 晴香（東京）　船津 克弘・松尾 統央（愛知） 三宅 秀明・石原 秀和（岡山）　作道 勉・宮本 裕士（愛媛）　児玉浩三朗・川上健一郎（長崎） 平島 哲也・鈴木 康信（福岡）　山下 智紀・森田 勇（熊本）　又吉 桂三・井上 洋文（沖縄）	宮崎県宮崎市9ペア
国民体育大会（18ペア）	新潟県柏崎市刈羽村上越市妙高市	10月2日〜10月6日	◎植村 彰 〇 浜田 浩和・小笠原久郎（ﾄｯﾌﾟ）　多田 和生・中舘 豊（ﾄｯﾌﾟ）　亀山 耕司・水谷 省一（北海道） 荒尾 祐治・櫻庭 正明（青森）　西山 健臣・木村 篤史（宮城）　伊藤 奨・渡辺 英治（山形） 二瓶 元嘉・本田 隆（福島）　新谷 幸司・関口 直人（山梨）　池田 勝・長瀬 浩（埼玉） 仲野 数也・藤坂 明雄（福井）　水内 隆夫・小林 智隆（新潟）　田中 啓輔・大塚 清彦（千葉） 丸山 竜司・浅野 幹也（愛知）　佐路 清隆・佐藤 晃（京都）　中山 学・山本 篤洋（岡山） 油上 智・中村 行志（静岡）　兒島 悟・川端 祐貴（福岡）　奥山 誠恒・海江田貴嗣（鹿児島）	新潟県柏崎市刈羽村上越市妙高市18
全日本学生（3ペア＋11）	石川県金沢市	11月7日〜11月11日	◎狩野幸介 〇　田中 潤・河合 哲（ﾄｯﾌﾟ） ＊各ブロック連盟からの推薦を参考に 再調整。 亀山 耕司・水谷 省一（北海道）　嶋川 直樹・宮本 真一（青森）　黒木 龍二・黒木 秀吾（東京） 本田 昭太・田渕 元雄（神奈川）　青木 英樹・根来 英介（愛知）　大石 克哉・桜打 佳浩（富山） 金坂 英宣・談義所啓輔（石川）　杉本 弘樹・井上 雄介（大阪）　飯田 一郎・早瀬 司（滋賀） 竹安 未央・浜田 倫暢（鳥取）　水津 研二・岡田 雅央（山口）	石川県金沢市14
全日本総合（8ペア）	男 東京都	12月16日〜12月20日	◎植村 彰 〇 ＊第1回審判審査指導委員会で決定。	男4 東京都
	女 香川県	12月24日〜12月27日		女4 香川県
JOCカップ（14ペア）	愛知県名古屋市	12月24日〜12月28日	◎齊藤仁宏 〇 高野 修・長澤 純平（ﾄｯﾌﾟ）　萩原 亨・小松 大（秋田）　岩角 聖孝・中野奈穂美（岩手） 戸塚 幸廣・勅使河原誠（群馬）　清水 卓実・山本 臣也（長野）　青木 英樹・根来 英介（愛知） 疋田 雅巳・加藤 俊宏（愛知）　貝田 良寛・寺口 吉行（兵庫）　浅井 隆志・尾崎 浩祥（大阪） 前田 隆志・山本 剛（大阪）　吉田 達明・藤原 孝夫（鳥取）　長谷部次雄・弘田 陸仁（高知） 森實 岳史・河野 翔保（愛媛）　金子 弘明・金子 慎吾（長崎）	愛知県名古屋市14
春の中学大会（18ペア）	富山県氷見市	3月25日〜3月29日	◎植村 彰 〇齊藤仁宏 〇岩上浩一郎 浜田 浩和・小笠原久郎（ﾄｯﾌﾟ）　村瀬 清志・石垣 正樹（北海道）　森 義則・佐々木充宏（秋田） 上飯坂 徹・大沢 勝（岩手）　高橋 智・石橋 正行（埼玉）　川村 浩一・高島 幸嗣（東京） 田村 裕志・八十山 修（石川）　服部 博幸・小岩井浩明（長野）　柴田 俊之・園谷 健志（福井） 桶家 秀介・魚川 友康（富山）　徳永 賢志・久保田昌俊（愛知）　北山 力也・上野 修一（兵庫） 竹安 未央・浜田 倫暢（鳥取）　濱田 哲雄・大崎 祥弘（高地）　蟻川 武司・瀬良 研一（愛媛） 梅本 司・桑原 康平（山口）　貞島 早苗・林 奈緒美（佐賀）　岩崎 栄一・中藤 圭祐（宮崎）	富山県氷見市18
全国高校選抜（18ペア）	岩手県花巻市	3月25日〜3月30日	◎細沢 覚 〇大橋幹正 〇田村 登 多田 和生・中舘 豊（ﾄｯﾌﾟ）　比留間 康・北嶋 浩（ﾄｯﾌﾟ）　篠原 理・中川 満則（北海道） 米内山壮之・浅井 宏信（北海道）　斉藤 崇・市丸 成彦（岩手）　山口 淳・川村 俊彦（岩手） 糸井 亮平・飯塚 敏章（福島）　尾形 俊賢・佐藤 健（宮城）　安孫子 功・高橋 善浩（山形） 長谷川素道・物部昌太郎（東京）　稲村 正・寿川 智博（埼玉）　中田 隆・野中 毅（栃木） 齋藤 史洋・江成 浩二（神奈川）　柏 博聡・岡 裕之（石川）　松川 雄司・加世田祐作（愛知） 須原 幸一・山田 祐輔（三重）　川勝 宏治・川勝 裕義（京都）　山本 耕一・壷内 博章（愛媛）	岩手県花巻市18

呼吸する建築

Swindow●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。

Wincon●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。

Cavcon●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

J級ハンドボール指導員の養成について

村松　誠
(財)日本ハンドボール協会参事

ハンドボールの発展には、指導者が重要

スポーツの発展には指導者が重要な役割を担っていると言われます。ハンドボールの指導者もその例外ではなく、活動の活発な地域には、昔から優秀な指導者が活躍されています。

現在のメジャースポーツのひとつであるサッカーは、当時の西ドイツからデッドマール・クラマー氏を招聘し強化を進めました。その成果が、メキシコオリンピックでの銅メダルへとつながります。日本サッカー協会は、クラマー氏が日本を去るときに残された5つの提言を実行し、現在のJリーグの隆盛に結びつけています。その中で、良い指導者の育成とライセンス制度の確立をあげています。

現代のスポーツは、大衆化と高度化に大きく拡大しています。ハンドボールもその例外でなく、ヨーロッパを見れば、トップレベルの競技者は、すでにフルタイムハンドボールプレーヤー、つまりプロ選手です。また、入り口での指導も、より良い発育発達や、豊かな生活を築くため、そして更なる高いステージでの活躍のためにも、指導者はそれぞれのステージでその指導の確かな基盤とバックボーンをもたなくてはなりません。ここにライセンス制度の意義があると言えます。

日本ハンドボール協会のライセンス制度

現在、日本ハンドボール協会には、公認の指導者資格として、上級ハンドボールコーチ、ハンドボールコーチ、上級ハンドボール指導員、ハンドボール指導員、J級ハンドボール指導員の資格があります。J級指導員以外は、日本体育協会と連携してその育成が行なわれており、日本体育協会の公認資格でもあります。一時期は、文部科学省認定の国家資格に位置付けを上げましたが、現在では小泉行政改革で日本体育協会の民間資格となっています。

これらの資格は、それぞれのステージでそれぞれの役割がありますが、J級指導員は子供のための資格として位置づけられています。これは、コーチや指導員の資格取得が共通教科や専門教科の講習に、受講者の負担が重荷になることから、子供の特性を踏まえた初歩的な講習で取得できるようにと配慮したものです。そのため、この資格は、ハンドボール協会独自で行い、独自で認定しているものです。

子供の指導では、スポーツ少年団指導員の資格もありますが、こちらの資格は、ハンドボールのみでなく、多種目にわたるため、その取得に負担も大きくなっています。

また、このJ級資格は、ハンボール指導員資格を取得するときに、一部免除対象科目がありますので、続けて、さらに勉強したい方には有利な制度になっています。

補助金制度を有効活用して指導者の育成を

このJ級ハンドボール指導員養成講習会に当たって、日本ハンドボール協会では、補助金制度を設けています。すでに、東京、愛知、神奈川などこの補助金制度を使って、J級指導員を養成しています。この補助金制度は、一回のみの適用にはなりますが、地域の少年少女指導者の確保や、保護者を巻き込んでのハンドボール活動に有効な手立てとなっています。

都道府県協会におかれましては、この制度をうまく利用し、少年少女のハンドボール発展にご活用いただくよう、お願い申し上げます。

平成 21 年 3 月 14 日・15 日の両日、駒澤大学において、第 7 回ハンドボールコーチング研究会が開催されました。本研究会は、全国指導者が自身の経験や・知見を持ち寄り、実際の現場で有用な情報を共有する機会として位置付けられています。

今月号より、過日のハンドボールコーチング研究会の発表につきまして、本誌で報告する運びとなりました。

今月は亀井明子さん（国立スポーツ科学センター）の発表内容「全日本男子ハンドボール代表選手に対する栄養管理」を報告させていただきます。なお、他の発表については次号以降で報告を連載いたします。

(財)日本ハンドボール協会指導委員会研究部会　舎利弗　学（学校法人福島高等学校）

全日本男子ハンドボール代表選手に対する栄養管理

亀井明子（国立スポーツ科学センター　スポーツ医学研究部研究員・管理栄養士）

1. 目的

全日本男子ハンドボール代表チームは、ロンドンオリンピック大会出場を目指した強化練習に取り組んでいる。2008 年 10 月～ 12 月にナショナルトレーニングセンター（NTC）にて全日本男子ハンドボール代表チーム強化合宿が行われ、栄養管理を行ったので報告する。

2. 方法

対象は、日本代表男子ハンドボール選手 36 名である。

1）栄養管理の目標

チームとしてのロンドンオリンピックまでのからだづくりの方針を代表トレーナーより情報収集し、栄養管理の目標を設定した。代表チームのからだづくりの方針は増量である。短期目標は、①増量のための食事について知る、②自分のからだづくりにみあった食事を選択できる、③日常生活でも実践できる、とした。中期目標は、コンタクトプレーに耐えうるからだづくり（増量）、最終目標は、2012 年ロンドンオリンピック大会出場権の獲得である。ここでは、短期目標に向けて行った栄養管理について示す。短期目標の設定期間は、平成 20 年 10 月 19 日～平成 20 年 12 月 31 日までである。この期間中、3 回の強化合宿が行われた。第 1 回強化合宿は、平成 20 年 10 月 19 日～ 21 日、第 2 回強化合宿は、平成 20 年 11 月 23 日～ 25 日、第 3 回強化合宿は、平成 20 年 12 月 25 日～ 31 日である。

2）エネルギー目標量の設定方法

強化合宿前、代表トレーナーより選手の所属チーム、生年月日、身長、体重について把握した。強化合宿時は、毎日、練習前後に体重測定を行い記録した。目標体重の設定は、チーム方針として、身長 cm － 100 以上を目指すことである。この値を目標体重の最低基準とした。また、第 1 回強化合宿時に個人の目標体重を把握した。増量のための目標エネルギー量の設定には、最低基準を上回ることと個人の目標体重から、JISS 式を用いて個人の目標エネルギー量を算出した。さらに、日常の活動量を生活行動より推定した。

3. 栄養管理の実際

1）身体特性

第 1 回強化合宿選手 36 名の年齢は、26.1 ± 2.7 歳（20 ～ 31 歳)、身長 184.1 ± 5.1cm（173 ～ 193cm)、体重 86.2 ± 9.3kg（67.1 ～ 113.1kg）だった。

2）エネルギー目標量の設定

この時期に増量を果たすための個別のエネルギー目標量を算出した。平均は、4255 ± 337kcal（3609 ～ 5279kcal）となった。

3）第 1 回強化合宿

第 1 回強化合宿では、栄養セミナーを 2 回実施し、1 回目は「ハンドボール選手のからだづくりと食事」とし、前半 90 分は栄養セミナーを行い、「自分のからだの現状を知り、からだづくりの目標をたてる、増量のための食事について知る」とした。後半 60 分はグループ演習を行い、「目標体重を達成するためのエネルギー量を把握し、1 食のエネルギー量を知る」として、1 回の食事でどのような料理選択が必要か、NTC レストランの食事をもとにシミュレーションを行った。2 回目は翌日行い、NTC レストランで実際にとった食事選択の評価を行った。また、増量のためには、強化合宿中の食事だけではなく、普段の食事から増量にみあった食事としなければならない。そこで、半定量食物摂取頻度調査（wellness21、トップビジネス）を用い、普段の食事量とバランスを個人別に確認し、増量に向けてのアドバイスができるようにした。次回の合宿時に選手個人に返却することとした。

4）第 2 回強化合宿

第 2 回強化合宿では、第 1 回強化合宿で行ったからだづくりに見合った食事を日常生活で実践できたかを評価するために、第 1 回強化合宿で行った調査と同様、半定量食物摂取頻度調査（wellness21、トップビジネス）を用いた。過去 1 か月間の日常生活での食事量とバランスについて確認し、次回の合宿で返却することとした。また、前回行った日常の食事量とバ

ランス評価の結果について返却した。

5）第3回強化合宿

第3回強化合宿では、実践食事セミナーとし「JISSレストランR3を利用した増量のための食事選択とその評価」とした。JISSレストランR3とは、JISS栄養グループの管理栄養士が、これまでの研究や実績に基づき考えるアスリートにふさわしい料理を提供している。様々な競技、体格の選手たちにも対応し得る献立を計画、毎食30種類以上のメニューを提供している。

過去2回の強化合宿時の栄養セミナーを踏まえて食事選択を行い、栄養チェックシステム（e-diary）を用いて、増量のための食事量とバランスの評価を即座に行い、増量のための栄養量の調整をした[資料1～3]。昼食のみの利用であったが、一人の選手に対して2日間行った。

資料1　栄養チェックシステム「e-diary」の使い方

まとめ

増量が達成できたかどうかの指標として継続的な体重測定は必須であり、今回の短期目標期間にも実施した。第1回強化合宿開始から第3回強化合宿終了時の体重変化の結果から、測定値が得られた19名中15名が増加傾向を示した。なお、スケジュール等の関係から体組成の測定は行っていない。体脂肪量で増量したのか、除脂肪量で増量したのか客観的な評価はできていない。今後は体組成の変化も確認することが必要である。

資料2　栄養チェックシステム「e-diary」の結果の見方

さいごに

平成21年4月以降、強化合宿が再開し、中期目標に向けて栄養管理も同時に開始している。強化合宿時に体重はもちろん、体組成の確認も始めた。合宿期間中の目標は、3部練習といった強化練習期間であることから、最低限、体重が減少しないことであり、目標はあくまでも増量である。1日に朝、昼、夕のNTCレストランでの食事と補食も含め、約6000kcal以上を実際には摂取している。エネルギー量はもちろん、強化練習に耐えるためは栄養素を十分に確保することも必要である。選手の食事選択の際には、以上のことを考慮し、栄養アドバイスを行っている。

ロンドンオリンピック大会出場権を獲得するための予選は、すでに2年半後となっている。ロンドンオリンピック出場権獲得に向けての栄養管理の信念は、「勝つための体は1日にして成らず」という言葉が適切だろう。

資料3　栄養チェックシステムを用いた食事評価のポイント（増量の場合）

①食事分類によるバランス
②目安となる栄養量が摂取できているか否か
③エネルギー源栄養素のバランス（PFC比）
④十分なエネルギー摂取
⑤たんぱく質及び脂質エネルギー比を下げない

＊本栄養サポートは、国立スポーツ科学センタースポーツ医・科学支援事業にて実施している。

2008年日韓交流（女子・U－16）トレーナー活動報告

パンジョスポーツクリニック　嶋原暢子

はじめに

2008年11月15日～21日に韓国ソウル市内、12月1日～6日に東京ナショナルトレーニングセンターにて、全日本女子U-16日韓スポーツ交流会がそれぞれ行われた。今回、トレーナーとして帯同し、その活動内容を報告する。

トレーナー活動

活動内容としては、メディカルチェックによるけが人の把握、練習前後のトリートメント（テーピング・ストレッチ・アイシングなど）、一般的ウォームアップの指導、応急処置、リハビリテーションなどを行った。

メディカルチェック

日本での前泊時に、選手に対してメディカルチェックを実施した。実施内容は、既往歴・現疾患・内科的疾患・アンケートを行った。結果は以下のとおり。

	既往歴		現疾患	
手関節	2名	手指突き指、骨折など	3名	手指突き指
肘関節	0名		1名	MCL損傷
肩関節	2名	腱板炎？	0名	
腰部	1名	腰痛症？	5名	ヘルニア、腰痛症など
大腿部	2名	肉離れなど	0名	
膝関節	4名	ジャンパー膝、打撲など	5名	ジャンパー膝、打撲など
下腿部	2名	シンスプリント、肉離れなど	0名	
足部	8名	捻挫、骨折など	4名	捻挫

内科的疾患を持った選手はいなかった。

既往歴・現疾患ともに、足関節捻挫と腰痛、膝痛が多かった。また、アンケートからほとんどの選手が週6～7日、2～5時間の練習をこなしており、また、試合期での遠征ということもあり、捻挫のほかにジャンパー膝や腰痛症などのオーバーユースと思われる疾患が多かったのではないかと感じた。

テーピング、トリートメント

訪韓時

部位	人数	詳細	処置
手指	2名	手指突き指	アイシング テーピング
肘関節	1名	内側靭帯損傷	アイシング 伸展・外反制限テーピング
肩関節	1名	腱板炎？	キネシオテーピング ストレッチ
腰部	1名	腰椎ヘルニア？	キネシオテーピング ストレッチ
膝関節	2名	ジャンパー膝 打撲後水腫？	テーピング マッサージ
足関節	3名	足関節捻挫	アイシング テーピング

受入れ時

部位	人数	詳細	処置
手指	2名	手指突き指	アイシング テーピング
肘関節	1名	内側靭帯損傷	アイシング 伸展・外反制限テーピング
肩関節	2名	腱板炎？	キネシオテーピング ストレッチ、モビリゼーショ
腰部	4名	腰椎ヘルニア？ 腰椎症	キネシオテーピング ストレッチ、マッサージ
膝関節	4名	ジャンパー膝 膝窩部痛、打撲	テーピング ストレッチ、アイシング
足関節	2名	足関節捻挫	アイシング テーピング

アイシング

訪韓時は、気温が低かったこともありケガ人を中心にアイシングを行った。

受入れ時は、場所がナショナルトレーニングセンターということで設備がよく、空調も整っていたため、全員にアイシングを行うことができた。選手たちも積極的にアイシングや、その他のトリートメントを自発的に行っていた。

ウォームアップ・クールダウン

今回の遠征では、監督側からの要望でストレッチを中心としたウォームアップ・クーリングダウンを行った。内容としては、練習前のストレッチ（静的）、筋温・心拍数を上げるための一般的ウォームアップ(ダイナミックストレッチ含む)までの指導を行った。訪韓時には気温が低かったということもあり、動的なウォームアップを多く取り入れた。クールダウンは、上肢、下肢、体幹の静的ストレッチを中心に行った。

障害報告

訪韓時

	傷害	詳細	処置
1	足関節捻挫	ジャンプ着地時に相手の足に着地	RICE 処置、リハビリ
2	足関節捻挫	キーパー時にボールが足背に当たり受傷	受傷後アイシング、テーピングをしてプレー継続
3	側腹部痛	誘因は不明、練習後に痛み	練習後アイシング、ストレッチでプレー継続
4	膝関節打撲	ゲーム中に膝から落ち打撲	アイシング、圧迫をしてプレー継続

受入れ時

	傷害	詳細	処置
1	膝関節痛	練習後に膝窩部の痛み出現	クライトストレッチでプレー継続
2	膝関節打撲	ゲーム中に膝から落ち打撲	アイシング、圧迫をしてプレー継続
3	肩痛	練習後に肩痛、腱板炎？	ストレッチ、テーピングでプレー継続
4	肩関節脱臼	ゲーム中に接触、肩から転倒	直ちにドクターにより整復。その後固定、安静。
5	頭部打撲	ゲーム中に接触、転倒、軽いムチウチ	ゲーム後、病院へ。アイシング、ストレッチ。プレー不可能。

リハビリテーション

訪韓時、足関節捻挫を受傷した選手がおり、応急処置から急性期のリハビリテーションを行った。

■受傷当日：

受傷直後からすぐに RICE、圧迫処置。その後練習は継続不可能。歩行困難。腫脹あり。

就寝時まで RICE 処置を継続、就寝時はゲット帯による圧迫。

■受傷2日目：

午前中 RICE 処置。その後、タオルギャザー・アイソメトリックでの収縮運動・ストレッチ・ROM 訓練など、OKC 中心のメニューを行う。午後からテーピングをしての CKC のメニュー開始。ウォークレベルまで可能。

■受傷4日目：

テーピングをしてステップ、ジョグの開始。軽いランニングレベルでの切り返し動作まで可能。ゲームの中で、7 mT シュートのみ参加。

※一週間後の受け入れ時には、サポーターをした状態で全ての試合に参加することができた。

最後に（遠征を通しての感想）

今回の合宿は、例年よりも２ヶ月遅れ、11 月の実施でした。そのため訪韓時は気温が低く、体が温まりきらないうちに動かなくてはならず、もっとウォームアップやクールダウンを入念に行うべきであったと感じました。また、選手自身のコンディショニングへの関心は高かったように思います。トレーナーのテーピングやマッサージに頼ってしまう選手も多かったのですが、比較的に自発的にケアを行う選手が多かったです。

今回、トレーナーとして参加させていただき、海外遠征の難しさと同時に、受入れ時のナショナルトレーニングセンターでの整った環境を体験することができました。しかし、全体を通して選手のフィジカル面やその他のところで、この若い世代だからこそ出来る事があるのではないかと思いました。将来、日本を背負うことのできる若い世代からの体作りをもっと十分に行うために、それぞれの世代での、一貫したメディカル面でのサポートが必要ではないかと感じました。

遠征を通して、自分自身貴重な体験をさせていただき、大変感謝しています。けが人は出てしまいましたが、全日程を無事に終えることができよかったと思います。今後の選手、監督、コーチのさらなる活躍を期待しています。ありがとうございました。

スーパープレーを見せる
スポーツ選手たちを支え

原寸大：W45mm×D17mm×H70mm

いつでもどこでも自分の体を自分でケアする「フルタイム・セルフケア」という発想から生まれた、ITOのポータブル低周波治療器「アスリートmini」。

トレーニングで損傷した筋肉に、3つの電気刺激モードが効果的に働きます。

ライバルを、そして自分をもっと超えていくために。

この小さなボディに盛り込まれた先進のテクノロジーが、

戦うあなたを力強くサポートする。

ATHLETEmini

アスリートmini　管理医療機器(特定保守管理医療機器)クラスII　低周波治療器　医療機器認証番号 220A[illegible]

50g 超軽量

本体重量わずか50g(充電池含む)、サイズも極小。ITOの技術が、今までになかった超軽量・コンパクトな低周波治療器を実現しました。

12時間 連続使用

リチウムイオンバッテリーにより、最大12時間の連続使用が可能。この小ささで、スタミナも一流です。

3つの治療モード COMB / PAIN / CARE 鎮痛・治癒

- **COMB〈鎮痛+治癒〉 Allタイムケア**
  トレーニングを終えた全てのアスリートに効果的な、鎮痛と治癒を組み合わせたケアモードです。
- **PAIN〈鎮痛〉 ONタイムケア**
  トレーニング中など、現場で起こった捻挫や筋肉・関節の痛みといった急なアクシデントに有効です。
- **CARE〈治癒〉 OFFタイムケア**
  移動中や休憩中などの体を休めている時にも、トレーニングで損傷した筋組織の治癒を促進します。

たい。

つねに最高のコンディションを保ち、ケガをした場合はより早くベストな状態へ回復することが彼らの大きな課題です。医療の分野だけではなく、こうしたスポーツ選手をサポートするために、私達の物理療法機器が活躍しています。日本を代表する選手をはじめ、さまざまなシーンで活躍する選手を幅広くサポートすること。私達は医療とスポーツの両分野で培った経験を活かして、これからもスポーツの世界を積極的に応援していきます。

イトー スポーツプロジェクト
ITO Sports Project
www.sports.itolator.co.jp

お問い合せ等はこちらまで。お気軽にお問い合せください。

製造 販売元 伊藤超短波株式会社
東京都練馬区豊玉南3-3-3 http://www.itolator.co.jp/

メディカル事業部 本 社：〒113-0001 東京都文京区白山1-23-15
TEL. 03(3812)1216(代)・FAX. 03(3814)4587

営業所		TEL.	FAX.
	盛岡	TEL. 019(634)1401	FAX. 019(634)1341
	仙台	TEL. 022(306)7667	FAX. 022(306)7688
	東東京	TEL. 03(3812)1217	FAX. 03(3814)4587
	西東京	TEL. 03(3812)1218	FAX. 03(3814)4587
	名古屋	TEL. 052(701)4515	FAX. 052(701)6905
	東大阪	TEL. 072(242)1041	FAX. 072(242)1040
	西大阪	TEL. 072(242)1043	FAX. 072(242)1040
	広島	TEL. 082(506)1421	FAX. 082(263)9070
	福岡	TEL. 092(573)6053	FAX. 092(573)0218
	デンタル部門	TEL. 03(3812)4151	FAX. 03(3814)4587

間寛平「アースマラソン」を応援しています！

私たち伊藤超短波は公式スポンサーとして、酷使する肉体のコンディショニングサポートを通じてアースマラソンを支えています。

協会だより

平成21年度
第1回評議員会・第1回理事会

日　時：平成21年6月13日（土）
　　　　13：30～16：00
場　所：渋谷エクセル東急ホテル
　　　　「プラネッツルーム」
出席者（敬称略、名簿順）：
理事：渡邊佳英、市原則之、多田　博、川上憲太、高村誠一、伊藤宏幸、角　紘昭、西窪勝広、江成元伸、大橋則一、志々場修二、植村　彰、松井幸嗣、河先　修、稲生　茂、城川俊久、山本　一　　　以上17名
監事：塩川安賢、荘林康次、高田日呂美　　　以上3名
特任副会長：川上整司　　　以上1名
評議員：松喜美夫、田辺哲彦、今野正志、菅野　肇、奥山重雄、安田博之、山下勝司、齋藤光男、風間勝也、川邊孝夫、平塚一彦、竹内佳明、山川博行、中浦　悟、石川直樹、村木啓作、夏目眞治、名倉昭弘、中村博幸、千葉英之、中井公人、田中秀和、森江和吉、森安昭雄、高野　修、加藤　晃、松本育男、長尾輝夫、田中達男、武田末男、田中　守、末次　功、大宮　泉、冨松秋實、西花丈雄、齊藤節郎、阿部富夫、川原繁樹　以上38名
参事：小西博喜、小島収治、高山重雄、杉本眞一、前川和三、佐藤公美、佐藤喜一、坂本静男、中野利一、堀美和子、大原康昇、小山哲央、大村　久、山本　繁、井口京子、佐久間克彦、福地賢介、田中　守、仲田　稔、藤森　徹、兼子　真　　　以上20名
欠席者（敬称略、名簿順）
理事：蒲生晴明、田中　茂、工藤雄三（委任状提出有り）
（事務局）床尾、羽田、原田

開会に先立ち、5月24日に逝去された兵庫県推薦の評議員井上亮一様のご冥福を祈り、黙祷を捧げる。続いて、本年度国体開催地の新潟県の柏崎市野村国体推進室長と上越市山口国体局長より挨拶がされた。

〈理事会成立の確認〉
本理事会が理事定数20名、出席17名、書面委任3名であり、財団法人日本ハンドボール協会寄附行為第26条に定められた3分2以上の出席のため、本理事会が成立していることが報告された。次に議長の選出が行われ、寄附行為第25条、第3項に基づき、渡邊会長が議長となった。

■渡邊会長より挨拶
昨年度からこれまでに思ったことを申し上げる。まず、第一に3月に第1回大会以来久しぶりに春の中学生大会（氷見市）の開会式に出席した。第1回大会では不参加県が多かったが、今春の不参加は数県のみであった。早く全県参加として欲しい。中学生の隆盛が日本のハンドボールの隆盛につながる。第二に、5月に行われた日韓定期戦についてだが、昨年の北京オリンピック予選以来の国際大会であった。男子には奮起を期待したいが、女子は30数年ぶりに韓国に勝利、ロンドンオリンピック出場権獲得へ向けて幸先の良いスタートとなった。今後もできるだけ国際大会を開催していきたいと考えている。第三と第四はAHF及びIHFの総会についてである。AHF総会には川上専務が、IHF総会には私の他に市原副会長、多田副会長が参加した。AHFについては、クウェートの支配が強まった。IHFについては、ムスタファ会長が再選、その後の理事会でもAHFアマード会長の影響が大きくなってきている。しかし、我々はおかしいことはおかしいと主張し続け、信念を貫いていく。第五に、市原副会長がJOC専務理事に就任されたことである。これはハンドボール界にとって名誉なことであり、側面からバックアップしていきたいので、皆さんにもご支援をお願いする。

■市原副会長より挨拶
ご多忙の中、ご参加頂き感謝申し上げる。渡邊会長からお話があったように、4月よりJOC専務理事を拝命した。1994年広島アジア大会を契機に、バレーボールの松平会長の指示で中央アジア視察以来、ハンドボール界に支えられながらオリンピックやアジア大会の本部役員や理事、団長などを仰せつかってきた。しかし、所属元のハンドボールがオリンピックに出場できないため、肩身が狭いのが実情である。子供たちにオリンピックの夢を与えることが大切である。日本のスポーツ界を挙げて2016年東京オリンピック招致にご協力をお願いする。

議事進行は、審議事項より行うこととした。

審議事項

1．評議員変更について
伊藤総務担当常務理事より、故井上亮一様の後任として兵庫県より千葉英之様が推薦された旨、説明があった。審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

■川上専務理事より挨拶
日頃より日本協会活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げる。既に平成21年度がスタートしているが、本日は平成20年度の事業報告及び決算書についてご報告申し上げる。昨年度は、オリンピック予選のやり直しや中東の笛問題で世間の注目が集まり、全国の小中高校生の登録人員が増えた。その後、AHF幹部とのコミュニケーションをはかり、3月のプレーオフにはクウェートレフェリーを招聘するなど、AHFとの関係改善を図っている。しかし、これは非常に根深い問題ゆえ、今後もコツコツと交渉を続けていく。今年度からは「世界を奪い返す」をコンセプトに、事業活動の基本方針は全てのベクトルを強化に向け、強化につながるか否かを実施可否の判断基準にしていく。5月に行った日韓定期戦は毎年行い、強化のチェックと当面の相手である韓国との距離を見ていく。強化試合、大会参加を増やし、12月の女子世界選手権、来年2月の男子アジア予選で好成績を収めていく。

2．平成20年度事業報告書（案）について
川上専務理事より、概要説明がされた。
審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

3．平成20年度決算書（案）について
伊藤財務担当常務理事より、平成20年度の決算について概要が説明された。
事業活動収入合計455,644千円、事業活動支出合計445,536千円、他積立金取り崩し収入、積立金支出があり、その結果次期繰越額104,199千円となった。

4．監査報告
塩川監事より6月11日に監事3名の立ち会いで監査を行い、業務及び会計処理など適性であったことが報告された。
審議の結果、全員異議なく、3、4議案は可決承認された。

5．平成21年度第一次補正予算（案）について
伊藤財務担当常務理事より、平成20年度の決算が確定したことと一部見直しがあったことから、平成21年度第一次補正案について説明がなされた。
補正後、事業活動収入合計453,226,500円、事業活動支出合計411,406,700円、積立金支出25,000,000円、予備費支出2,500,000円、当期収支差額マイナス23,450,200円となり、次期繰越収支差額は80,749,037円となることが説明された。
審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

6．平成20年度日本協会表彰者について

伊藤総務担当常務理事より、平成20年度の日本協会表彰者について、加盟団体及び日本協会からの推薦者一覧の説明がなされた。

審議の結果、全員異議なく、本件は可決承認された。

報告事項

1．平成21年度執行部及び日本協会組織図について

川上専務理事より平成21年度執行部及び日本協会組織図について説明があった。

2．平成21年度会議日程及び平成22年度会議日程粗案について

伊藤総務担当常務理事より、平成21年度会議日程及び平成22年度会議日程粗案について、それぞれ説明があった。

3．公益法人制度施行にあたり

伊藤総務担当常務理事より、公益法人制度施行について、兼子事務局より補足説明が、それぞれあった。市原副会長よりJOCの現状（猶予が5年あり焦る必要がないため、いろいろ研究しながら進めている）について説明があった。渡邊会長より、他団体の動きを睨みながら進める方が良いだろうとの発言があった。

4．平成21年度国際・国内・ブロック大会日程について

江成競技担当常務理事より、平成21年度国際・国内・ブロック大会日程について説明があった。

5．強化（スタッフ、JOC強化指定選手、年齢別）について

西窪強化担当常務理事より、強化（スタッフ、JOC強化指定選手、年齢別）について説明があった。

6．AHF、EAHF、IHF総会について

AHF総会及びEAHF総会について川上専務理事より、IHF総会について渡邊会長、多田副会長より説明があった。また、市原副会長より、IOCがコンプライアンス（法令順守）とディスクロージャー（情報開示）といったガバナンスを重視しており、これらができない競技はオリンピック競技から外されてしまう懸念があることが説明された。

7．普及関係（第11回ハンドボール研究集会他）について

角普及担当常務理事より研究集会について、小山参事よりマスターズ大会及びマスターズ委員会について、それぞれ説明があった。

8．社会人連盟（仮称）設立について

江成競技担当常務理事より社会人連盟（仮称）について説明があった。市原副会長より、国際大会は年齢別になっており、日本国内も一刻も早く分りやすい組織に再編しなければ他の競技団体に後れを取る懸念があるとの発言があった。

■平成21年度全国大会審判員名簿（案）

植村審判担当常務理事より平成21年度全国大会審判員名簿（案）について説明があった。平塚評議員より各都道府県在籍人員について質問があり、植村審判担当常務理事より合同委員会資料として各ブロック長を通じて各都道府県に報告されている旨、説明があった。

9．日本リーグ（新ディビジョン）について

市原副会長（リーグ機構会長）より日本リーグ（新ディビジョン）について説明があった。平塚評議員より社会人連盟（仮称）と新ディビジョンの関係について質問があったが、川上専務理事より新ディビジョンは日本リーグの下部組織であり、社会人連盟とは異なる旨の説明があった。また、村木評議員から既存の大会との兼合い、10月には来年度のスケジュール編成の問題が出てくる旨の発言があった。また、奥山評議員より東北では社会人連盟組織があり、様々な大会を開催しているため、それらを十分に調査した上で組織に反映して欲しい旨、発言があった。市原副会長より歴史を変えるためには過去を断ち切らねばならないため、時限を持ってディスクローズしながら進めていく旨、説明があった。

10．がんばれハンドボール20万人会について

中野参事よりがんばれハンドボール20万人会について報告があった。川上専務理事より1人でも多くの方に参加頂けるようにお願いがあった。

11．国会議員ハンドボール振興議員連盟発足について

市原副会長より超党派の国会議員によるハンドボール振興議員連盟発足について説明があった。また、多田副会長より数多くの国会議員が集まり、熱気に溢れており驚いた旨、補足説明があった。

12．その他（車椅子連盟より）

小西参事より車椅子連盟について説明があった。

■川上副会長より

昭和60年に発行されたナンバーという雑誌がある。この時には広報委員長を拝命しており、ナンバーから「マイナースポーツ特集」の取材を受けたものである。マイナースポーツでは印象が悪いことから「スポーツ新世界」に題名を変更してもらったが、その際に12種目が取り上げられた。このうち、先の北京オリンピックでは8種目がメダルを獲得した。バドミントン、卓球、自転車、ソフトボール、女子レスリング、ウェイトリフティング、フェンシングなどだが、メダルを取っても人気スポーツになるとは限らない。その点、ハンドボールは人気スポーツの仲間入りができるスポーツである。一方で、高校の強化が不可欠ではないかと考えている。インターハイは、他の競技では12月～2月に実施する動きが顕著である。ハンドボールも時期を検討すべきであると思う。

■多田副会長より

このような会議は自由に発言、討議できる場としていきたい。前向きに討議していくので、理事、参事、評議員の皆さんもご意見をどんどん出して頂きたい。今後もコミュニケーションを大切にし、透明性の高い協会を皆様と一緒に作っていきたいのでよろしくお願いしたい。

予定していた議案について全て終了したので、16時20分に平成21年度第1回評議員会・第1回理事会は閉会した。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」6月入会・継続会員

【群　馬】高橋　萬知子、高橋　泉、酒井　宏　【埼　玉】浅川　敏司　【千　葉】松井　秀樹
【東　京】伊藤　隆幸、小笠原　泰代、田島　雅史　【神奈川】河野　卓也、新井　益枝、鷲塚　友里亜
【福　井】谷口　信二　【愛　知】川合　晴己、藤原　涼子　【大　阪】幸田　良一、本田　勝亮、下佐古　明彦
【兵　庫】高祖　加奈子　【和歌山】松本　芳樹、松本　朋子、加藤　照男、水口　幹夫、木下　豪人
【広　島】福井　恵二　【福　岡】日野　祐一郎、和佐野　健吾、下田　昭弘　【大　分】伊藤　道良

【8月の行事予定】

【大　会】

8月2日(日)～7日(金)（京都府・宇治市、京田辺市）
第60回全日本高校選手権大会

8月3日(月)～10日(月)（タイ・バンコック）
第10回女子ジュニア・アジア選手権

8月8日(土)～11日(火)（千葉県・市川市、香取市）
第14回ジャパンオープントーナメント（男女）

8月11日(火)～13日(木)（北海道・札幌市）
東日本学生選手権大会

8月21日(金)～22日(土)（熊本県・八代市、宇城市）
第36回全国高等専門学校選手権大会

8月22日(土)～25日(火)（宮崎県・宮崎市）
第38回全国中学校大会

8月26日(水)～30日(日)（福岡県・福岡市）
西日本学生選手権大会

8月29日(土)～30日(日)（千葉県・南房総市）
第11回全日本ビーチハンドボール選手権大会

HAND BALL CONTENTS Aug.

重点施策実行のための“支援”…………高村誠一　1
2010年男子ユースオリンピックアジア予選
／第3回女子ユースアジア選手権に向けての抱負
〈男　子〉ヘッドコーチ･滝川一徳、主将･元木博紀、
選手･玉城慶也、上野真悟………………… 2
〈女　子〉ヘッドコーチ･繁田順子、主将･大谷佳奈美
選手･中村光代、名渕友紀………………… 3
第32回国際ハンドボール連盟（IHF）
総会に参加して …………………………多田　博　4
第34回日本ハンドボールリーグ日程…………………… 9
フリースロー：どこへ行く実業団選手権
…………………………………………早川文司　8
ヨーロッパ情報：チャンピオンズリーグから①……村松　誠　10
2009年度　全国大会レフェリー名簿……………………12
J級ハンドボール指導員の養成について……………14
指導委員会コーチング研究会報告：
全日本男子ハンドボール代表選手に対する栄養管理
……………………………………亀井明子　16
医事委員会だより：2008年日韓交流（女子・U-16）
トレーナー報告…………………………嶋原暢子　18
協会だより ……………………………………………22
10万人会会員／8月の行事予定／目次　………………24

（登録チームの購読料は登録料に含む）

JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

スカイハンド® JAPAN-MT

THH514 ¥16,800（本体¥16,000）
- カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0～29.0cm

名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

スカイハンド® JAPAN-S

THH515 ¥15,750（本体¥15,000）
- カラー：2300 レッド×パールホワイト
5093 ネイビーブルー×シルバー
- サイズ：23.0～29.0cm

株式会社アシックス

(財)日本ハンドボール協会編 『ハンドボール』第五〇二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成二十一年七月二十六日印刷 平成二十一年八月一日発行
東京都渋谷区神南一－一－一
電話 代表〇三－三四八一－二三六一
振替 〇〇一二〇－七－一〇二九三
編集兼発行人 川上憲太
定価 年間三三〇〇円